

8 地域探究活動

普通科探究コースの学校設定科目で地域や身の回りの課題、関心ごとなどからテーマを設定し、立てた問に対する実践を行う活動である。2年生のテーマ設定に至るまではSDGsや専門家の話を聞いたり、フィールドワークしたりしながら決めていく。テーマが決定したら、課題解決のための実践を行い、さらにそれを振り返ることで探究のサイクルを回していく。

2年												3年											
4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
準備				探究テーマ探し																			
												探究活動											
												実践											
												リフレクション（振り返り）											
												進路実現											

普通科探究コース2・3年生67名が対象に取り組んだ。身の回りや地域課題から問を見つけ、テーマ設定を行いプロジェクト化し、20プロジェクトが実践している。活動の際は、多様な人々、機関、団体との協働している。グローバル学習成果発表会、高校生の全国サミットをはじめ県内外の高校生とオンラインで対話をする機会にも積極的に参加している。今年度は、オンライン海外研修や海外留学を考えていた生徒がカンボジアの起業でオンラインインターンを実践するなどコロナ禍でも可能な地域を考える上で海外とのつながりを持つ生徒が増えたことが顕著であった。

①全体計画

年	月	実施項目
2年	6	<地域探究活動とは？> 使用教材：マイプロジェクト探究ガイドブック part.1 なぜ地域探究か。 マイプロジェクト全国サミット視聴（40分）を見て意見発表。 ＊マイプロのための地域探究でも、地域のための地域探究でもない。自分を成長させるためにやる。 ・関係人口 ・発表の仕方 ・人を巻き込む えびの市の魅力について探る。 コロナだからできること。地域活性化とは何か。アンケート（探究活動・進路について）
	7	自分グラフ作成 SDGsについて知る SDGs フォトコンテストの実施 地域で活躍する人を知ろう ニシモロスタイルを読んで興味ある人を挙げ、調べる。 魅力化コア会議のメンバーについて知る。 地域で活躍する人に取材をしよう。取材対象の選定。 ヒーローインタビューの練習（大正大学山中先生）,取材開始 取材記事の作成方法・レイアウトについて
	9	取材記事作成期間・台湾への修学旅行プロデュース大会 取材記事完成・発表 探究テーマ決定/起業家育成プロジェクトスタート

	10	実践①から実践②へ ・えびの未来カフェオンライン ・実践①の評価と新たな問を見つける
	11 3	実践②の評価と新たな問を見つける
	6 7	課題解決に向けた実践③～④ ・ポスターセッション 地域探究活動 探究テーマ ・農創生プロジェクト ・共に学ぶ場づくり ・地域環境プロジェクト ・eスポーツで地域を元気に ・プレーパークプロジェクト ・ゆるスポーツ ・合宿誘致プロジェクト ・海外✕地域プロジェクト ・子育て支援プロジェクト ・グローバルリーダーズサミット ・吉都線活性化プロジェクトなど
3 年	9 12	個人レポート作成 発表プレゼン作成
	2	グローバル学習成果発表会

②SDGs フォトコンテスト発表会 (2年)

<事前準備>	タブレットPCを準備する。(36 + 1台) 探究ファイル配付
14:35	教室にて全体説明・1人1台タブレット配付
14:45	教室移動
15:10	グループ別発表会(密にならないように注意する) タブレットPCで写真を表示しながら6人のグループ内で発表して、各班1人代表者を決定。発表は1人2分以内で感想記入1分(付箋にアドバイスや感想を書いて発表者に渡す)。 アドバイスをもとに各自コメント欄の修正を行う。
15:25	教室移動
休憩	
15:35	代表者発表(2B教室) <プロジェクター使用> タブレット返却
16:00	ふりかえり・「地域活性化について」

テーマ設定に至るまでは、いくつかのワークを行う。一つは、SDGsを切り口に地域の気になる写真を撮影して下記のようにまとめる。これをグループやクラスで共有することでテーマ設定のきっかけとする。



タイトル	変わっていく田植えの時期
関連するSDGsの目標	気候変動に具体的な対策を
コメント	私の祖父はお米を育てています。しかし、最近気候変動の影響で気温の変化が大きく、急な雨や台風により昨年はお米の収穫量が減少しています。また、気温の上昇により田植えの時期が変わってきているようです。この状況が続けば、将来思うようにお米の収穫ができなくなり、今私たちが食べているような美味しいヒノヒカリにも影響が出てくる可能性があります。もしかすると食べられなくなるかもしれません。未来の世代のためにも、えびの市のヒノヒカリを食べてもらいたい！いつまでもこの風景を残したい！気候変動を食い止めたい！という強い思いがあり、この写真を撮りました。
2年B組 30番 氏名 宮原 和天	

③対話を用いた授業「ゆたかさとは？」

地域探究を実践する3年生を対象に宮崎県総合政策課とコラボして県の「ゆたかさ指標」を用いた対話ワークの授業を実践した。生徒たちは実践の中から様々なことを述べておりこれまでの活動のふりかえりや新たな視点で考える貴重な機会となった。



実施日時	令和2年9月16日(水) 6～7校時	指導者	梅北 瑞輝
指導学級	3年B組(生徒数31名)	指導教室	多目的ホール
教科・科目	地域探究活動	単元名	“ゆたかさ”とは？
本時の目標	1) 前時のゆたかさ指標について、それぞれ考えていることをクラス全体で共有する 2) ワールドカフェ(対話)により、自由に質問、語り合うことを実践から学ぶ 3) 他者のテーマ(考え方)を知ることにより、視点を増やし、より深く考える		
3つの観点別学習状況の評価 ①知識・技能 ②思考・判断・表現 ③主体的学習に取り組む態度			
段階	学習内容	学習活動	指導上の留意点
導入 (3分)	○ゆたかさ指標について ○ワールドカフェについて	○ゆたかさ指標の講義を受けて考えたことや感じていることなどフリーで発表する。 ○ワールドカフェの説明を聞く。	○ゆたかさ指標について再確認する。 ○アイデアは、人がオープンに会話を行い、自由にネットワークを築くことのできる『カフェ』のような空間でこそ創られること、ワールドカフェのルールについて説明する。
展開 (39分)	ワールドカフェテーマ 「私の考える“ゆたかさ”」	1ターム目(13分) ①4人グループで1人ずつ、自分の考える“ゆたかさ”について、地域探究の経験をふまえて共有する。 ②共有されたテーマについて質問、回答をする。 ③それぞれのテーマについて、すぐに実践できることを語り合う。 2～3ターム目(各13分) ④グループに一人残り、残りのメンバーは他のグループへ移動する。 ⑤グループに残ったメンバーが1ターム目の内容について新たなメンバーに共有する。 ⑥新たに加わったメンバーも前のグループで話した内容を共有する。 ⑦対話を通して改めて考えた“ゆたかさ”についてそれぞれ発表する。	○テーマについて説明をする。その際、話すポイントなどを簡単に示す。 ○1ターム目の進め方について説明し、ワールドカフェについて再度確認をする。 ○新たなグループを作る際は、前のグループとメンバーが重ならないよう指示する。 ○2・3ターム目の進め方について説明する。
まとめ (8分)	○今回の学びについて全体共有する。(5分) ○ワークシート作成(3分)	○全体共有したことについて発表する。 ○今回の学びを記録する。	○全体共有したい内容について発表を促す。 2～3名 ○ワークシートに記録をするよう指示する。 ○本時の講評と次回に向けた指示を行う。

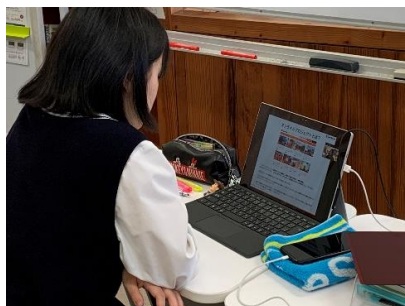
④ハイブリッド型探究

昨年度3月より企画・実践する予定であったことが全てキャンセルとなり実践を中心とした探究活動を進めていく上でどのように修正をしていくかが課題であった。そこで、学校全体のチャレンジとしてオンライン面談やオンライン授業の試験運用をスタートさせた。地域探究についても2・3年生それぞれで1コマずつ実施し「今できることは何か？」をテーマに対話の時間をつくり生徒たちに委ねて以降、オンラインを活用した探究活動が一気に進んでいった。

例えば、3年生の女子生徒の一人は当初インバウンドを想定したえびの観光ツアーを計画していた。当然ながらこの企画はできなくなり、次のアクションをどうするべきか考える中で選択したのはオンラインで海外企業へインターンすることであった。これは、カンボジアで日本商品を展開する企業で行ったもので休校期間中、探究の時間を使って活動を行った。3か月間企業での業務にあたる中で「地域のものを海外へ発信したい」と社員向けに地域の魅力についてプレゼンを行い焼き芋の販売を提案。それが採用され、現在プノンペンやバンコクで販売されている。このようにオンラインを活用した探究は、高校の枠を超えて協働し進めていく新たな事例となっている。



探究オンライン授業



カンボジア研修



ラオス研修

⑤探究の自走

また、ハイブリッド型の取り組みが広がったことによりコロナ禍にありながら生徒たちの自走も変化した。例えば、探究の時間に専門家の話を聞きたいとなれば直接足を運ばなくても Zoom でつなぎレクチャーを受けたり、プレゼンをしてフィードバックをもらったりするなどこれまでにない取り組みが見られるようになった。これに加えて通常の活動もできるようになると、オンラインとオフラインを使い分けた実践が見られるようになった。



起業家プロジェクト



専門家との意見交換



地域医療 I P E



自然で遊ぶプレーパーク

～子どもの心と体を育てる～

飯野高等学校 3年 竹之内深百 吉野朱華 栗坂太陽 辻夏輝

子どもたちのあそび場『プレーパーク』を作る活動をしています。プレーパークとは『自分の責任で自由にあそぶ』をモットーにしているあそび場のことです。近年、外であそぶ子どもの数は減少しています。そこで私たちは、えびの市の自然の良さをいかし、子どもたちがもっと自然に触れ、やりたいことを自由にできる環境を作りたいと思い、2年前からこの活動をしています。

▷プレーパークQ & A

Q 1. プレーパークとは？

A 1. 自分の責任で自由に遊ぶことをモットーにしている場です。そして、ルールに縛られず、やりたいことができる場所です。

Q 2 プレーパークで遊ぶことのメリットは？

A 2. 自由にできる環境で遊ぶことで、自分がしたかったことに気づく、つまり自分の心の声に気づくことができます。幼少期のこの経験から、その子自身の自己肯定感が高まっていきます。自己肯定感はこのからの日本を作っていく子どもたちにとってとても大切な感情です。

Q 3 危なくないの？

A 3 通常の公園よりかは危ないです。しかし、痛みを自分で感じることで、生きていくうえで重要な情動を育てることができます。そうはいても、命に係わるものや年齢によっては大変な事故になりそうなものはプレーパークのスタッフがあらかじめとりのぞいています。これも大切な仕事です。

▷開催までの流れ

～第一回参考例～

地域おこし協力隊の方へプレゼンテーション

↓
地元の方々に向けプレゼンテーション

えびの市役所「観光商工課」に協力してもらえることに！
道具や必要なものの提供をしてくださる方との出会いも！

↓
知識固め

プレーパーク養成講座に参加
プレーパークを開催者のインタビュー
プレーパークについての知識をより確実なものに

↓
遊びの内容の決定

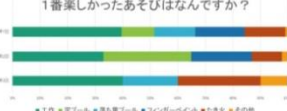
↓
遊びの作成

↓
前日準備

↓
第1回 プレーパーク開催(2019. 05. 05)

アンケートの結果

1番楽しかったあそびはなんですか？



1位は3回連続で
工作！！

感想

お母さん・
お父さん達からの
感想

・またしてほしい！！
・自然の中であそべてよかった！
・自然の中であそぶチャンスが
あまりないので来れて良かった！
・お兄ちゃんお姉ちゃんたちが
あそんでくれて親もほっこりした！

▷改善点



大人に頼りすぎた(第1回)



高校生だけの力で(第2回)

▷これまでの活動内容

- ・プレーパーク開催 計3回
- ・地域の講演会でのプレゼンテーション
- ・学校でのプレーパーク説明会
- ・ZOOMでのお話会(青森の大学生・岩手の高校生)
- ・開催地「八幡丘公園」についてのワークショップ
- ・森林教室
- ・チェーンソー講座、ユンボ運転講座
- ・雑誌「BE-PAL」のイベントのお手伝い
- ・ニュージーランドへの短期留学
- ・講演会参加(藤原さん)
- ・プレーパーク養成講座 計5回
- ・東京視察
- ・マイプロジェクトアワード2年連続九州大会出場

▷NEXTアクション

- 7月25日 第4回プレーパーク
- 8月09日 第5回プレーパーク
- 8月23日 第6回プレーパーク

プレーパークプレゼンツ
「子どもにしかつけれないもの」

- 7月25日 WAKUWAKU ZOOM①
- 8月23日 WAKUWAKU ZOOM②
- 動画配信
- お兄さん・お姉さんといっしょ
- 「コロナが流行るいま、
高校生たちは何を思うのか」
- 熊本支援

▷大事にしていきたいこと

- ①まず自分たちが1番に楽しむ
- ②感謝を忘れない
- ③常にチャレンジ
- ④子どもの立場で考える

▷こだわり

地域と一緒につくる
えびのの自然を活かす



Glocal Leaders Summit

竹之内愛佳 中村千笑理
益山 綾 涌水葉月

Glocal Leaders Summitとは

「グローバル」な視点で活動する高校生、大学生、高校教諭、行政職員、民間企業、NPOなど様々なカテゴリーの方々が一堂に会し越境的な学びあいの場を作ること、新たなチャレンジを創出するもの

えびの市の課題

人口減少、観光客減少、少子高齢化、商店街老朽化



えびの市の魅力

昔ながらの京町温泉郷、農畜産物、豊かな自然、九州二位の道の駅、豊かな水源、広大な土地、地元の方々の温かさ



経験・動機

広島県大崎海星高校で開催されたSCHシンポジウムに参加し、様々な環境で生活している方々とセッションを行ったことにより、自分自身の視野の広がりを感じることができ、様々な分野の方々と出会いたい、機会を作りたいと思った

目的

- ・県内違う環境に住む高校生や大人の方が一緒になって討論することで視野を広げられ、自分の可能性に気づいてもらいたい。
- ・えびの市に来ていただき、実際に見て・聞いて・感じてもらうことで、えびの市の魅力をより多くの人に発信したい。

研究方法

第一回GLS

2019年8月 SCHシンポジウム参加
↓
9月 第一回GLS企画開始
↓
10月 日程決め
↓
11月 募集開始
↓
11月 文部科学省企画書提出
↓
12月 市役所食材提供願
↓
12月 京町温泉郷無料入浴券発行の願
↓
1月 ラジオ出演
↓
1月10日～12日実施

第二回GLS

2020年1月 第二回開催決定
↓
2月 内容決め
↓
3月 コロナウイルス拡大
↓
4月 オンライン開催決定
↓
5月
↓
6月 ホームページ作成
↓
7月 内容決定
↓
7月 SNSでの募集
↓
8月1日 オンライン実施

参加者・参加校

文部科学省・九州大学・宮崎大学・上越教育大学院・宮崎大学・伊佐市地域おこし協力隊・宮崎キャリア教育支援センター・NPO法人牟岐キャリアサポート・(株)ベネッセコーポレーション・新富町地域おこし協力隊・立命館宇治高等学校(京都)・筑波大付属(東京)・渋谷高校(大阪)・山北高校(神奈川)・飯南高校(三重)・和気開谷(岡山)・富山東高校(富山)・生野高校(兵庫)・国分高校(鹿児島)・浮羽実業高校(福岡)・純心女子高校(鹿児島)・大口高校(鹿児島)・川辺高校(鹿児島)・妻高校(宮崎)・宮崎北高校(宮崎)・五ヶ瀬中等教育学校(宮崎)・本庄高校(宮崎)・大宮高校(宮崎)・馬頭高校(栃木)・窪川高校(高知)・APEえびの・浜田市教育委員会(鳥取)・大阪城南短期大学(大阪)

考察

第一回GLS

- ・県内外違う環境に住む、高校生～社会人の方々と話し合い交流することで新しい視点から物事を考え、意見を述べる事ができた。
- ・県内外多くの方と話し合いを行うことで交流でき、いろんな分野でのつながりを持つことができた

反省点

- ・役割分担がしっかりとできず、遅れをとることがあった。

第二回GLS

- ・オンライン開催だったのでオフラインよりも参加しやすく、コロナの影響で大人数で集まらずに開催できた。
- ・県外からの参加者を募ることで県外の状況もオンラインを通し手知ることでもできた。

反省点

- ・オンラインで行ったが一か所大人数が行ったことで回りが聞き取りにくくなってしまった。
- ・途中でオンラインが切れることが多くあった。
- ・グループリーダーのまわしが悪いことが多くあり、オンライン中に沈黙の時間が多く流れた。

実践

第一回GLS

13時 第一回GLS 1日目
18時 GLOCAL成果発表会参加
高校生交流会(カレー作り)
9時 第二日目
アイスブレイキング
テーマ募集
10時 各学校紹介
12時 飯野高校ツアー
13時 講座
15時 えびの市ツアー
探究活動見学
18時 情報交換会
3日目
9時 アイスブレイク
10時 ワールドカフェ
11時 NEXT ACTION

・第一回GLSワールドカフェ
「産待」「グローバルとは」
「AIの未来」「地域について」
・第二回GLS意見交換
コロナ禍の中で私たちにできることは何か

第一回GLSえびの市ツアー
真幸駅幸せの鐘
地域探究活動見学
空き家プロジェクト、ゆるスポ

第二回GLS

14時 オンライン開始
14時20分 アイスブレイク
14時30分 意見交換
15時10分 全体共有
15時20分 感想・意見
15時55分 集合写真・閉会

SDGs



教育関係者の方と地域探求などについて話し合うことができ、そこから学校教育の向上を図ることができる。



地域課題について、県内外の方々と討論することで今まで気づくことのできなかった自分の地域の魅力や課題に出会い、地域活性化につなげていくことができる。



高校生～社会人の方々が一堂に会するサミットであるので参加するすべての人が同じ立場に立ち、日本で起きている事柄について話し合うことができる。



普段、関わることのできない方々と繋がることのできるサミット後にアクションを起こす際、様々な方と協力できる。

地域×海外プロジェクト～世界をより身近に～

Online Internship in Cambodia

飯野高校
溝口梓

- ・英語を話す実践の場が欲しい
- ・海外に触れたい 携わりたい、知りたい
- ・地元の魅力発信、地域活性化



Q.オンライン海外インターンとは



- ・Tiger Movというアジア、アフリカ、南米など世界42か国、約300件以上の多種多様な実践的なビジネスインターンを提供する企業がしているプロジェクト。
- ・アウトプットにこだわり世界中のリアルな課題に自宅から挑戦でき、さらにリモートで成果を出す能力を磨く新しい実践の場

DAISHIN TRADING

→カンボジア全土に日本食材、飲料・酒類を販売する食品飲料卸会社

- ・2020年9月で7周年
- ・日本をはじめとする世界8か国から随時900アイテム以上取り揃え、日本の美味しい商品(冷凍・冷蔵・ドライ)をカンボジアに毎月輸入

TASK

- ・焼酎カタログ作成
- ・サンプルページ作成
- ・案件まとめ作成
- ・鮮魚 英語翻訳
- ・フリーランスサイト作成
- ・セブンイレブン提出書類作成
- ・ミャンマー市場調査
- ・Camboinfo記事記載
- ・キャビア値段調査
- ・ビジネスメール作成
- ・値付け
- ・Facebook Live



学び

- ・コミュニケーション能力
- ・視野の広がり
- ・英語力 ・達成感
- ・スキルアップ ・責任感
- ・ビジネスマナー

Vision

地元えびの市の特産品をカンボジアに！！

Next Action

- ①カンボジアのインターン先 (DAISHIN)に企画提案
- ②地元の企業の方とコンタクト
- ③カンボジアで販売

#せかい部

目的

- ・海外に興味はあるけれど一歩踏み出せない子をバックアップ
- ・海外経験者を増やすために活動中(最終目的)
- ・ネット上の運営 (Instagram/Twitter)

学び

- ・参加者の感想
外国についての考え方が変わり、気づかないことに気づくことができ、また、行ってみたい国が増えた
- ・聞き手として (自分)
留学目的、異文化、留学前と後の自分の変化など聞くことによって留学したい！という気持ちが高まった。
- ・運営側として
一人での企画・開催は準備や進行を全て一人で行う必要はない。
- But 得られたものは独り占めできる
- 臨機応変に対応する力、周囲への配慮
相手とのコンタクト、計画性

- ・文部科学省が2013年10月より開始した「トビタテ！留学JAPAN」
- ・高校生による高校生のための「知らない世界をシェアする」ソーシャル部活動。
- ・海外経験者と未経験者をSNSで繋ぎ世界中で得た発見、魅力などを発見する。

第一回 #せかい部開催 海外経験者の話を聞こう！！

日時：7月16日(木) 18時～19時
参加人数：17名
海外経験者：宮崎大学助教、宮崎大学生2名
ミャンマー 「ヒ素の研究」
オランダ 「チーズの研究」

Next Action

感想用紙の行きたい国のところで総計が多かった国の日本人留学生にコンタクトをとり第2回#せかい部を開催！

4 質の高い教育をみんなに



学校では学べないことを学ぶことができ、さらに仲間と共有し合うことができる。

17 パートナリシップで目標を達成しよう



「インターン」や「海外留学」は、様々な人と協力し、目標を達成することができる。



地域探究活動
3B All Stars



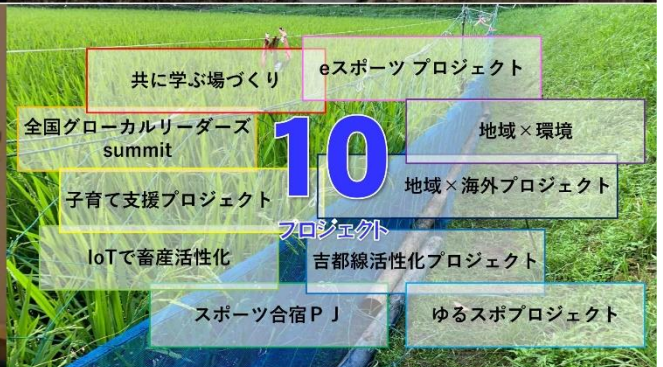
地域、日本、世界的な視点で考えたい



世の中には社会課題が多くある



高校生の力でも何かできないか



ゴミアートで地域を美しく

- えびの市の現状
- ・不法投棄が増加している
 - ・ゴミの分別ができていない

深刻化

えびの市民はこの現状に気づいていない

この問題を知ってもらうために、...

ゴミについて調べる

ゴミアートの存在を知り
自分たちでやってみようと思った



IOTで畜産活性化

3-B
中村心 平山祥 栗坂太陽
下永雅也 辻夏輝

解決を目指して

IoTを活用して解決を図る



知識不足

協力をお願いする
【Cisco Systems, Inc.・鳥羽商船】

宮崎牛の現状

- 農家の人手不足
- 知名度が低い
- 体調管理が難しい
(転んだら起き上がれない)

今後の展望

カメラを設置して

有効性の検証をする

結果をもとに

ドローンをどうするか検討する

eスポーツで地域活性化

←IoTで畜産活性化

スポーツ合宿誘致計画

eスポーツで地域活性化

地域の課題【若者が県外へ流出・コロナによるイベントの減少】

地域で若者を中心に楽しめる活気のあるイベントを行いたいと考えた。そこで若者に人気があり、オンラインでイベントが開催できるeスポーツを利用した大会を行おうと考えました。

【主な活動】 宮崎県・福岡県eスポーツ協会との話し合い。
えびの市役所企画課との話し合い。小中学校に向けたアンケート。

学んだこと

この活動を通して私たちは、新型コロナウイルスという壁に直面しました。これに対してすぐに諦めるのではなく沢山の解決策を模索することによって周りの人が協力してくれたり良い方向に活動が進んでいくことを学びました。

【お知らせ】

2月にオンラインで
eスポーツ大会を
行うことに決定
ゲーム内容
ウイニングイレブン



スポーツ合宿誘致計画

←eスポーツで
地域活性化

ゆるスポーツ

スポーツ合宿誘致計画

●小出水 鈴風 ●池田 瞳 ●榎田 陽菜

きっかけ

- 温泉があるのにあまり有名じゃない
- アスリートチームには一定のファンがいる
- えびので合宿があれば、アスリートや追っかけと呼ばれる人たちがえびのを知ってくれるのでは？県内外から人を呼び込めるのではないかな？
- 温泉の効能がスポーツ後に最適だから京町温泉郷に泊まってもらう

そんなときに

- ちょうど元プロバレーボール選手とお話する機会が！！
- 事情を説明し、細かい質問にも快く応じてもらい、有力な情報を数多くゲット！！
- さあ、得た情報をもとに計画を進めていくぞ！

新型コロナウイルス
感染拡大により安倍首相、
全国の学校に休校要請
(え？どうするの？)

コロナ禍により

- 休校期間中…ちっとも進まない、進められない
- 休校が明けても、新型コロナウイルス感染拡大防止のため県をまたぐ移動に制限がかかる(どうすればいいかわからない)

そうこうしているうちに

- 先生からチーム内での連携、確実な目標が持てているのかと指摘が。
- 新型コロナウイルス感染拡大第二波
- ポスター制作や、研究の目的レポート、受験などが重なり結局何もできない
- 第3波到来

学んだこと

- やりたいことがあったらすぐに行動に移す
- わからないことがあったら大人に聞く
- 自分たちだけでできないと判断したら周りを頼る



頼ってね

私たちみたいに
なるな！！！！

ゆるスポーツ

← スポーツ合宿 誘致計画 →
← JR吉都線活性化プロジェクト →

ご当地
ゆるスポーツ

～かっどせん～

青木 陽依
吉野 朱華

かっどせん！

年齢・性別・経験に関わらず
だれもが楽しめる新スポーツ！

GLSでの発表



GLSの中で全国の人に向けてゆるスポーツの説明と体験会をやらせてもらいました。全盲の方にも体験してもらおうことができ、よい機会となりました！！



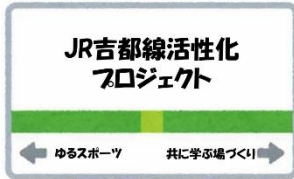
イベントの様子

飯野高校生を対象に小規模で開催しました。



~この活動を通して学んだこと~

- ・自分たちがやった分だけ結果につながる。
- ・協力してくださる方の存在の大きさ。
- ・臨機応変に動くことの大切さ。



JR吉都線活性化プロジェクト

~「きっとハロウィン」による地域活性化について~

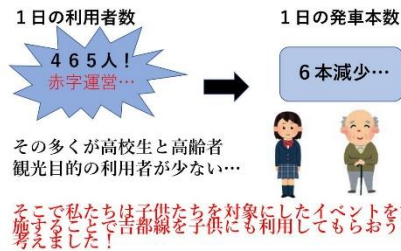
川副佑馬 前田健太



皆さんJR吉都線について詳しく知っていますか？



吉都線の抱える問題



JR九州が減便を発表した主な在来線

(利用客1,000人未満の区間)
(日1本10人未満)

路線(区間)	1日あたり運行本数
①唐津線(多久-佐賀)	46本 → 40
②日豊線(大分-大在)	92本 → 79
③久大本線(大分-豊後国分)	69本 → 60
④吉都線(吉松-都城市)	22本 → 16
⑤(八代-人吉)	30本 → 24
⑥肥薩線(人吉-吉松)	10本 → 6
⑦(吉松-単人)	31本 → 23
⑧日南線(志布志-南郷)	20本 → 16

当日の様子です

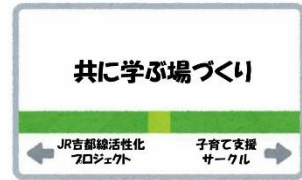


自分たちが学んだこと

子供たちの元気は想定外にすごい!

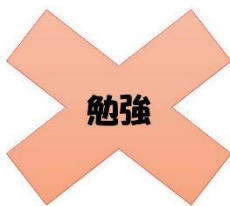
子どもたちの元気 → 地域の活性化 → イベントの開催

循環できるので持続可能な活性化が可能!





→ **えびの市の現状**



① **友達の家**

保護者がいる
安心する

② **その他の環境**

児童クラブ
宿題ができる環境
塾

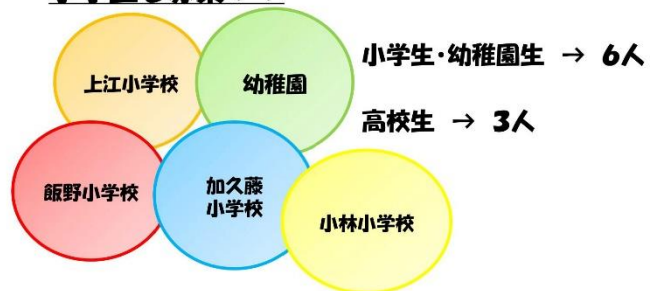
つまり、この二つの場所以外にできる環境が少ない！！



カフェ × 勉強 × 交流

安心して勉強・交流ができる場所

小学生を募集！！



小学生と学ぶ

飯野高校地域探究活動



タイムスケジュール

14:00	飯野高校 集合
14:30	pepe 到着
14:30~14:40	アイスレーキング
14:50~15:05	おどおど・勉強会
15:15~16:00	ポスター作り
16:10~16:30	レクリエーション
16:30	pepe 出発
17:00	飯野高校 解散

持ってくるもの

- ①宿題(終わっていないものがあれば...)
- ②色鉛筆やクーピー(おうちにあったら...)
- ③水筒、傘

※多少時間にズレがあるかもしれません。

アイスレーキングの様子



勉強(宿題)・交流の時間

年代を超えて、教えあう姿



懐かし、今こんなところを勉強しているよ～

ポスター作り(カフェpepe)

色塗りをしたよ。
何色で塗ろうかな



カフェpepeは、
どんな感じかなあ～

登下校の様子

×学校からカフェに向かうとき…

- ・雷がなってしまった。
→雨天時の場合を想定していなかった。



○カフェから学校に帰るとき…

- ・みんなで仲良くお話をしながら帰れた。
→安全を確認しながら、楽しく帰れた。



活動して学んだこと

- ・一人一人の対応は、難しかった。
→自分のやりたいことが他にあって、まとめるのが難しかった。
- ・やる気の引き出し方
→声かけ、内容の工夫
- ・臨機応変に対応できる力
→色んな子ども達に話しかけられても、丁寧に聞き取っていくこと。
- ・小学生とコミュニケーションをとる難しさ。
→目線を合わせて、しっかり話を聞くこと。

自分たちにどんな変化があったか

- ・観察力や対応力を備える必要がある。
→周りに目を配っていきること
- ・多くの視点から物事を見つめていく力が大切と感じた。
→一つの方向性だけでなく、あらゆる視点から見ていく。
- ・自分たちの立場だけでなく、相手の立場も考える。
→年齢も違うので、考え方や感じ方も異なるからこそ、相手の立場になって考えていくことが重要。

最後に…

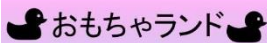
少人数での実施となったけど、
地域の特性を踏まえ、「共に学ぶ場づくり」の活動は、
貴重な体験となり、
今後も地域のためや子ども達のために
自分たちが力になりたいという気持ちが高まった！

子育て支援サークル

←共に学ぶ場づくり GLS →

QUESTION

周りの手助けなく一人で物事を成し遂げることってできるのでしょうか？



おもちゃを使って金銭感覚や英語などの教育を学ぶイベント
きっかけ

- ①学生や幼稚園生を対象としたイベントが少ない
- ②教育を学ぶイベントが少ない

着目

「私たちが作ろう！！！」

1、他県の活動を調査

参考にしたいイベントの事務局

@福岡県糸島市

→インタビューを行うため実際に訪問

調査内容

- ・どのくらいの規模で何人のボランティアが必要なのか。
- ・具体的な内容
- ・残ったおもちゃの保管は？
- ・今まで開催した中で起きたトラブル。対処法。

2、イベント企画

イベント内容

- ◎使わなくなったおもちゃでポイントゲット!
- ↓
- ◎楽しいブースでポイントを貯めよう!
- ↓
- ◎「ポイント」好きなおもちゃをゲット!
- ↓
- ◎オークションで特別なおもちゃをゲット!

ポイントの貯め方
・お仕事(査定、値付け、陳列、会計)
・おもちゃを持ってくる
・ブース体験

3、実践までの準備

- 先輩や地域の方々にイベントに対する意見をもらう
- ↓
- 生徒、児童向けポスター作成
- ↓
- おもちゃ寄付ポスター
- ↓
- おもちゃ収集 **約100個**
- ↓
- イベント日時の掲示用ポスター
- ↓
- 会場配置図 作成



イベント開催日 3月14日 のはずが。



臨時休校に・・・。

地域 & 自分について見つめなおす時間が増えた。



外出自粛により我が子に対するストレス

→ 虐待の増加

「私たちに今できることは何だろうか」

おもちゃを届けようPJ

子供たちにとっておもちゃは必要

- ・母親と一緒に作れる...
- ・自分一人でも作れる工...

- ・もしかしたら、いす...
- ・他人が使用したも...
- ・ペットボトルの切り口が危険だ。

危険性・清潔面

「おもちゃランドで集めたおもちゃを提供しよう！」

おもちゃ100個



保育園、幼稚園

実践までに・・・。

- ①打ち合せ
- ②おもちゃを別ける
- ③おもちゃの消毒
- ④メッセージカード作成

○GOOD POINT

- ・子供たちや保護者のことを考え、率先して活動できた。
- ・ボランティア生など多くの協力があつた。

○BAD POINT

- ・おもちゃの対象年齢や条件を絞るべきだった。
- ・活動後の相手側の意見を聞いていない。

人吉支援ランドセルPJ

7月に隣町の熊本県人吉市が大雨による
甚大な被害を受けました。

- ・子供たちにとって勉強する環境は大切。
 - ・子供たちが元気よく学校へ行く姿を取り戻したい。
- 学習するうえで必要なランドセルや文房具を募集し寄付する活動



活動の様子

ランドセルカバーの作成



文房具の仕分け



メッセージカードの作成



当日の様子



○GOOD POINT

- ・様々な方々が協力してくれた。
- ・文房具やランドセルの寄付がたくさんあった。
- ・県をまたいで貢献できた。
- ・マスクも一緒に提供することでコロナ感染症の予防もできる。

○BAD POINT

- ・実践までの期間が短かったため計画があまりできていなかった。
- ・ボランティア生へ指示が行き届いていなかった。



活動を通して・・・

- ・地域や他者とのつながりを持つことで連携、協力できる。

協働、協同

- ・協力してくれる人の存在の大きさ

協力、共同、協働

- ・子育ては一人ではなく「地域で」取り組むもの

協力、共感



様々な力が身につく

- ・イベント開催に向けた企画力
- ・多くの人と関わる中でのコミュニケーション力
- ・変容する社会への対応力
- ・新たなことへの創造力



私たちは誰でも、周りの人たちのちょっとした気遣いや見守りのなかで、支え・支えられながら暮らしています。

協働

共感

協力

Glocal Leaders Summit

← 子育て支援サークル 地域×海外プロジェクト →

GlocalLeadersSummit

竹之内愛佳 中村千笑理 益山綾 涌水葉月

共有の場



学びの場



出会うの場

GLOCAI LEADERS SUMMIT

えびの市の現状

人口減少
少子高齢化
交通手段(電車等)の減便

GLSをすることによって

実際に呼び込み参加者にえびの市の魅力を感じ取ってもらう
インバウンド獲得につながる

えびの市から全国を活性化



計画にあたっての調査活動

- ・スイッチバッグの時間
- ・食材
- ・京町温泉郷
- ・場所確認



実践までの過程

計画

1日目

13時 GLOUCAL 成果発表会参加
18時 高校生交流会 (カレー作り)



2日目

9時 アイスブレイキング
テーマ募集
10時 各学校紹介
12時 飯野高校ツアー
13時 講座
15時 えびの市ツアー
18時 探究活動見学
情報交換会

3日目

9時 アイスブレイク
10時 ワールドカフェ
11時 NEXT ACTION

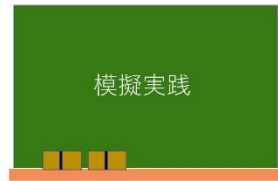


実践準備

- ・文部科学省へ企画書提出
- ・ラジオ出演
- ・市役所に食材、利用施設提供の依頼
- ・京町温泉への協力依頼 (宿泊場所、チケット)



模擬実践



第一回 Global Leaders Summit

日時：1月10日～1月12日

1日目
13:00 GLOUCAL 成果発表会参加
18:00 高校生交流会 (カレー作り)
2日目
9:00 アイスブレイキング
テーマ募集
10:00 各学校紹介
12:00 飯野高校ツアー
13:00 講座
15:00 えびの市ツアー
探究活動見学
情報交換会
3日目
9:00 アイスブレイク
10:00 ワールドカフェ
11:00 NEXT ACTION



AIについて

未来カフェ



事例発表

- ・飯野高校
- ・立命館宇治高校
- ・飯南高校
- ・大崎海星高校
- ・筑波大付属高校
など



市内ツアー

真幸駅

ゆるスポ体験



ワールドカフェ

- ・地域探求について
- ・児童虐待について
- ・学校の校則について
- ・AIについて



活動結果

3つの“場”の提供

新しい視点からのものの見方を学ぶ場

主体的に意見を述べる場

人と人のつなぐ場

2月20日
第3回 Glocal Leaders Summit
をオンラインで開催

活動を通して

計画力

実現力

コミュニケーション力

NEXT
ACTION

8月1日 第二回グローバルリーダーズサミットを
オンラインで開催

地域×海外プロジェクト

← GLS

→ 終点

地域×海外プロジェクト
世界をより身近に～えびのから世界へ～

溝口梓

皆さんはどう考えますか？

高校生がインターン
とかできるの？

「高校生がえびの市から
カンボジアでインターン」

それって何？

どうやってやるの??



- ・ 英語を使って何かしたい
- ・ 地元の魅力発信、地域活性化

外国人向け観光ツアー

しかし・・・

一人で企画・開催⇒想像以上に大変



観光ツアー開催
海外留学
⇒中止



オンライン海外インターン???

Tiger Mov

世界42か国、約300件以上の
ビジネスインターンを提供する会社



カンボジア 日本食飲料卸会社

- ・ 英語を話す実践の場
- ・ えびの市の特産品(ひのひかり、焼酎、水 etc...)をカンボジアへ進出 ⇒**地域活性化**

仕事内容

焼酎カタログ作成



Camboinfo記事作成



オンライン上で働くことのメリット

- ・ 海外の企業に携われる
- ・ 視野の広がり
- ・ 人との接し方
- ・ ビジネスマナー
- ・ 大人との出会い
- ・ 将来のキャリア
- ・ 価値観の違い
- ・ 時間を意識

今後の展望

- ～えびの市のインバウンド増加～
- ⇒観光学について学びを深める
- ⇒地域活性化につなげる

地域から世界へ

